

2024 年度第 2 回岩手医科大学附属病院医療安全に係る監査委員会 議事録

1. 日 時：2025 年 2 月 14 日（金）15 時 00 分～16 時 00 分

2. 会 場：岩手医科大学附属病院 10 階大会議室

3. 出席者：【委 員】佐藤伸之委員長、長谷川頌委員、奥寺高秋委員

【病院側】森野病院長、肥田副院長/医療安全管理部長、鈴木副院長/医療機器安全管理責任者、佐藤副院長/看護部長、工藤薬剤部長、朝賀医薬品安全管理責任者、村山病院事務部長、鎌田内部監査室長、病院企画課、医療安全管理部、内部監査室
（※欠席：田中医療放射線安全管理責任者）

4. 監査内容

（1）前回議事録の確認

前回監査委員会の議事録の提示があり、内容について確認が行われた。

（2）2024 年度前期活動報告

浅尾専従看護師長、岩泉専従主任看護師、今野専従薬剤師および朝賀医薬品安全管理責任者より、資料に基づき、2024 年度前期活動報告について説明があった。

（3）医療事故の再発防止策の取り組みについて

肥田管理部長および浅尾専従看護師長より、資料に基づき、医療事故の再発防止策の取り組みについて説明があった。

5. 総評

- ・全体のインシデント件数が減っていることについて、こちらでは対策がうまくいって減っているのではないかという、プラスの減少という捉え方されているが、他病院では増加しており、やはり減っている状況はあまりよろしいことではないと思う。院内報告のような方法があればもっと増えてくると思うので、やはり積極的な報告をお願いするべきだと思う。
- ・病棟配置薬や患者誤認等、重点的なポイントを決めて取り組み、それぞれ成果を出されているということとは非常に大きく評価できる。
- ・転倒・転落について、0 にできれば一番いいが、重大なアクシデントに繋がらないような取り組みが大事である。
- ・何かあると事例に対する様々な取り組みをするが、それがスタッフの負担にならないような配慮が必要である。
- ・患者誤認や転倒・転落等、重点課題として取り組んだ成果が見えており、一生懸命取り組んでいることがよくわかった。
- ・モニターアラームコントロールチームを設置して具体的にに取り組んでおり、これからよい結果が出てくることを期待したい。
- ・ミスが許されない環境の中で、非常にご苦労されてることは常々感じている。これからも頑張っていたきたい。

以上をもって、医療安全に係る監査委員会規程第 2 条ならびに第 3 条に基づく監査を終了したことを確認した。報告書を作成しホームページに公表するものとする。

2025 年 11 月 13 日

委員長 佐藤 伸之

委員 長谷川 順

委員 興寺 高秋